



2026年3月26日
コスモエネルギーホールディングス株式会社
コスモ石油マーケティング株式会社
鹿沼市

コスモ石油マーケティングと鹿沼市、
ゼロカーボンシティ実現に向けた地域包括連携協定を締結

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：高山 直樹、以下「コスモ石油マーケティング」）は、栃木県鹿沼市（市長：松井 正一）と、「ゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携に関する基本協定」（以下「本協定」）を3月25日に締結しましたのでお知らせします。

協定に基づく取り組みの第一弾として、コスモ石油マーケティングは、4月1日より鹿沼市の公共施設に再生可能エネルギー由来の電力プラン「コスモでんきビジネスグリーン」(※1)を提供します。これにより、鹿沼市は年間約870トンのCO2排出量を削減できる見込みです。



3月25日に行った協定締結式の様子（左から鹿沼市の松井正一市長、コスモ石油マーケティングの高山直樹代表取締役社長）

【協定の主な内容】

本協定により、以下の事項について連携・協力して取り組みます。

- (1) ゼロカーボンシティの推進
- (2) 地域循環共生圏の推進
- (3) 市民への環境教育

また、上記の目的を達成するため、以下の分野において施策を進めていきます。

- (1) 地域内でのエネルギー循環に向けた取組
- (2) 廃食用油の再資源化に係る取組
- (3) 市公用車の環境負荷低減に関する取組
- (4) 市施設等への低炭素エネルギー供給に関する取組

【両者の取り組み】

鹿沼市は、第5次鹿沼市環境基本計画の策定により、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減することを目標としています（区域施策編）。本協定は、その実現に向けた取り組みを推進するものであり、2050年にはゼロカーボンシティ「二酸化炭素排出量の実質ゼロ」の達成をめざします。

コスモ石油マーケティングは、鹿沼市のゼロカーボンシティ化を一層推進するため、コスモ石油マーケティングの商品「コスモ・ゼロカボソリユーション」(※2)の導入についても鹿沼市と具体的な協議を進めていきます。

今後も、コスモエネルギーグループは、自治体や企業と連携し、2050年カーボンニュートラル実現に向けて、様々な取り組みを推進してまいります。

※1 「コスモでんきビジネスグリーン」について：再生可能エネルギー指定の非化石証書等を使用して環境価値を付加することで、実質的にCO2排出量ゼロを実現するサービスです。お客様の年間合計販売量相当以上の非化石証書等を購入し、電気の販売にあわせて使用することで、使用電力のすべてが実質的に再生可能エネルギー由来の環境価値を持つ電気となります。

URL：<https://www.cosmo-denki.com/business/low/green/>

※2 「コスモ・ゼロカボソリユーション」について：地域の特約店と一体となって、法人や自治体向けに再生可能エネルギーEV等の周辺商材をワンストップで提供し、脱炭素への取り組みや電気料金の抑制等をトータルサポートするサービスです。

URL：<https://www.cosmo-denki.com/business/lp/solution/>

以上